



校長だより

～なかまとともにのびよう～



天美小学校 HP

令和5年1月号

校長 高橋 義浩

新年明けまして おめでとうございます



あらた みなさま しんねん あ
改めまして、皆様、新年明けましておめでとうございます。

さくねん ほんこう きょういくかつどう りかい きょうりよく まこと
昨年は、本校の教育活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。

みなさま きょうりよく ぶじ いちねん お
皆様のご協力のおかげで、無事一年を終えることができました。

どうぞ、ほんねん もよろしくお願ひいたします。

子どもたちの5年後、10年後を見据えて

れいわ ねんど まつばらし はたち つど がつこのか せいじん ひ じつし とき ようす
令和4年度『松原市二十歳の集い』が1月9日の成人の日に実施されました。その時の様子
すこ しょうかい しきょういく いんかい いち ぶ ばつすい
を少し紹介します。(市教育委員会のHPより一部抜粋)

とうじつ しきてん 804 名 の せいじん さんか せいしゆく ふんいき なか せすじ の
当日の式典には804名の二十歳の成人が参加しました。静粛な雰囲気の中で、背筋を伸ばして
しきじ しゆくじ みみかたむ すがた せいじん じかくや頼もしさを かんじました。ぶんかかいかんないでは
式辞や祝辞に耳を傾ける姿に成人としての自覚や頼もしさを感じました。文化会館内では
はたち つど じつこう いん さくせい はたち きみ てんじ しきてん さん
二十歳の集い実行委員が作成したメッセージボード「二十歳の君へ」を展示しました。式典に参
加した人が自分や仲間、後輩たちへたくさんのメッセージを残してくれました。一部を紹介します。

- ・素敵なおとなになるためにがんばります。・何年たっても元気でいられるように、みんなも。
- ・人の意見に流されず、自分らしく生きてください。・後輩たちの夢や希望がかないますように！
- ・どんな時でも笑顔で!!・新しい自分を発見したい!・成人おめでとう。松原を有名にしようぜ!

あま みしょうがっこう そつぎょうせい はたち つど さんか さんか せいねん しょうがつ
天美小学校の卒業生も、「二十歳の集い」に参加していました。参加した青年たちは、小学
こう ころ ふ かえ とし なに おも いた ゆめ いま わす
校の頃を振り返った時、何を思うのでしょうか?「あのとき抱いた夢を今も忘れずにいる」「あの
とき仲間と今でも繋がっている」。そんな風に思ってくれていたら幸いですが・・・

日々、「やらなければならない」こともたくさんありますが、目先のことだけでなく、子どもたち
の5年後や10年後の「育ち」を見据えながら関わっていければなと思っています。

今年一年、教職員一同力を合わせて教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。

どうぞ、みなさまがた しえん きょうりよくたわ ねが もう あ
どうぞ、皆様方のご支援ご協力賜りますよう、お願ひ申し上げます。



持たせなければホントに大丈夫なのか？



持たせないことも一つの対策だが、いつまでも持たない環境ではなくなりました。今は“持たせて我慢する経験をさせる”ことが大切なのだ。持たずにいると我慢を経験しない。時間を決めて使う我慢。学校に持って行かない我慢。それが身につくと、職場では使わないことが常識として身につく。我慢の経験をしていない大人は、数々の投稿トラブルを起

こしている。ポケモン GO でマナー違反をしているのは、我慢の経験をしていない大人ばかりだ。せめて小学生の時にはポータブルゲーム機やおやのスマホで我慢を体験していなければ将来トラブルに見舞われることになる。デジタル社会となり、あらゆる機器がデジ



タル化されてきた。しかし、アナログを理解しなければデジタルは使いこなせない。災害時に公衆電話が使えない子どもも増えている。スマホの電池がなくなると親の番号を覚えていない子どもは連絡が出来ずにいる。ビデオテープ、カセットテープ、MD、フロッピーディスク…見たこともない小学生が大半だ。テレビまで Wi-Fi で YouTube が観られる。好きな番組だけしか観ない環境は、一般常識が欠落する。アナログな新聞でなければ地元の情報は知ることが出来ない。顔を見て会話をする。友達と遊び、人の繋がり大切さを学ぶ。親と旅行をし、不便と楽しさを体験する。

わが家のレール!



忙しくて構ってあげられないからとゲーム機を与えて放置すると、当然ゲーム依存になるだろう。経験に無いことは選ぼうが無いのだ。子どもに色々な体験をさせることで、ネット依存は防げる。ゲームが好きならゲームフェスタや専門学校に見学に行き、本物を見せる。親が色々体験させてくれると感ずることで、愛情は伝わる。デジタルでは愛情が伝わらないことにも気づいてくれる。

みんなで
考えてみよう



(「NIT 情報技術推進ネットワーク株式会社」のHPより)